



高見 博道 議員
(令和新風加西)

釜坂峠を含めた県道下滝野市川線について



問 加西インター産業団地を進めていくに当たり、周辺道路の整備は大変重要だと考えています。また、産業団地は加西市にとって、農業を含めた産業振興の中心的な役割を担っており、それを進める上で、そこにつないでいく道路、交通網を整備することは、産業団地の発展、加西市の発展につながる大変重要なところだと思っています。

道路整備について、加西インター産業団地の地元校区に関わる県道下滝野市川線について、別所の交差点東側、山田町、そこから

馬渡谷町の方面は、整備が順次進んでいます。その信号から西側、泉小学校区、また、西在田小学校区につながる別所から上道山までの現在の状況、また、今後の整備の予定について答弁を求めます。

答 県道下滝野市川線の現在の整備状況ですが、別所交差点から道山までの道路改良事業については、現在のところ計画はありません。現在、同路線の事業として、山田町において通学路整備を行っており、当該区間が完了した後に、馬渡谷町側の整備を予定しているところです。

兵庫県との協議では、現在実施中や計画中の事業を優先し、市内の県道、国道の道路改良の進捗を見ながら、要望のある道路改良事業について、費用対効果や事業の実現性などの検証を十分に行い、事業化の判断を行っていくとのこ

とです。

県道下滝野市川線は加西市北部の東西を結ぶ主要幹線であることから、全線の道路改良を兵庫県に要望していきたいと考えます。

問 釜坂峠をトンネル化する場合の費用について伺います。

答 工法検討や概略設計を行っておらず、正確な事業費は算出していませんが、トンネル化した場合は30～40億円程度と考えます。また、並行して釜坂峠までの道路改良工事を行う必要があり、アクセス性の向上を考慮しながら県と協議していくこととなります。

■その他の質問項目

- ・加西インター産業団地について
- ・加西市の公用車について



佐伯 欣子 議員
(清流会・かさいを育む会)

真摯に市民、住民の声に耳を傾ける重要性！！



庁舎増築事業

問 目的と今後の予定について。

答 こども家庭センターは当初、分散型として担当部署が協力し合って業務を遂行することとなるため、本庁舎裏の空スペースを活用して付属施設を建設し、センターを統合します。総事業費は35億円を見込みます。

問 議会で議論するには、市が事業を決めて予算を組み、議会に対して詳細計画を提示し、また、市民の意見を聞くべきでは、

答 今後、市民や議会に対して進捗状況を報告します。

市長と市議のハラスメント問題

問 ハラスメントに対する市長の認識は。被害者職員からの抗議内容は。被害者職員が心情を考えてほしいと訴えられているのか。ハラスメント問題は本当に解決しているのか。被害者職員に謝罪されたのか。

答 (市長) (全ての質問に) 既に解決、対応済みの事案です。職員の心情を踏まえ答弁は差し控えさせていただきたいと思えます。今後とも緊張感の欠如に注意しながら、風通しのよい職場づくりに努めます。

問 議会から市長へ2回の聞き取り要請、議会への報告、アンケートの実施を全て断られる理由は。本当にハラスメント問題

は解決しているのか。何をもちて解決したとされるのか。

答 (市長) (全ての質問に) 解決したと理解しています。

問 総務課相談窓口における実態把握は。

答 過去10年間で2件あり、ハラスメントの実態把握に努めています。

問 市としてアンケート実施の意向は。

答 実施する予定はありません。

意見 ハラスメントは、最終的に、職場の生産性が低下し、職場全体に大きな悪影響を及ぼします。相手を尊重せず、心が深く傷つく行為であり、誠実で責任ある対応をお願いしたい。